

安全データシート



1. 製品及び会社情報

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15
製品コード	470747-DE01
SDS 番号	470747
作成日	29/09/2023
供給者	ビーピー・ジャパン株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20F 電話 03-5719-7200
緊急連絡先	ケアケム: 0120-015-230 (24時間受付)
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	温度管理クーラント 具体的な用途についてのアドバイスは、「テクニカルデータシート」を参照するか、またはお客様窓口にお問い合わせください。
使用上の制限	使用上の制限: 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	誤えん有害性 - 区分1
GHS ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	危険
危険有害性情報	H304 - 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
注意書き	
安全対策	該当しない
応急措置	P301 + P310, P331 - 飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
保管	P405 - 施錠して保管すること。
廃棄	P501 - 内容物及び容器を市町村条例、都道府県条例、国内法令及び国際条約の規定に従って廃棄すること。
その他の危険有害性	皮膚の脱脂。 温度が高い製品に接触すると、やけどの危険性があります。

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 1/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット 日本
		前作成日	2025 2月 28.	言語 (Japan)
		作成日	10/2/2023	(JAPANESE)

3. 組成及び成分情報

物質、混合物の區別

混合物

高精製ベースオイル (IP 346 DMSO 抽出物 < 3%). 添加剤。

化学名又は一般名	含有量(%)	CAS登録番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
水素化中性油を原料とする潤滑油 (C15~30)	≥90	72623-86-0	情報なし。	情報なし。

供給者の現在有する知識範囲と該当する濃度において、健康または環境に対して危険有害性があると分類されるために、このセクションで報告が義務づけられている追加成分は含まれておりません。

職業曝露限界値の設定がある場合は、第8章に記載。

製品中での反応等を考慮して国内法規制への適用性を判断しております。本製品の適用法令に関する情報は、セクション15をご参照ください。

4. 応急措置

必要な応急処置の説明

目に入った場合

熱い製品—水をかけて熱をとります。まだ製品が残っている場合には、それを無理に取り除くことはせずに水を引き続きかけます。直ちに医師の診断を受けてください。
冷い製品—まぶたを大きく開いて多量の水で目を十分に洗ってください。痛みや発赤が広がったり続いた場合には、医師の診断を受けてください。

吸入した場合

もし吸入したら、新鮮な空気のある場所に移動させる。症状が現れたら、医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合

熱い製品—水をかけて熱をとり、清潔な綿布かガーゼで患部を覆い、直ちに医師の診断を受けてください。

冷い製品—水と石けんで汚染した皮膚を洗ってください。汚染した衣服を脱ぎ、すぐに出来る限り汚染した部分の皮膚を洗ってください。皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

嘔吐を誘発させてはならない。意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。意識がない場合、昏睡位(うつ伏せで顔をやや横向き)にして直ちに医師の診断を受けさせる。飲み込むと呼吸傷害の潜在的危険有害性。肺に入り損傷を与えることがある。直ちに医師の診断を受けること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

健康への影響と症状の詳細については、セクション11を参照。

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置

応急措置をする者の保護

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。

医師に対する特別な注意事項

処置はおおむね対症療法とし、作用を和らげるようになります。
この物質は、飲み込んだ場合や、胃内容物の逆流によって吸引され、重症かつ致死性の化学肺臓炎を起こすことがあります。その場合は緊急の治療が必要です。吸引の危険があるため、嘔吐を誘発することや胃洗浄は避けてください。胃洗浄は気管内挿管後にのみ実施してください。不整脈をモニターしてください。

特定の治療法

特定の治療法はない。

5. 火災時の措置

消火剤

適切

火災の場合は、泡、乾燥粉末、炭酸ガス消火器またはスプレーを使用してください。

不適切

ウォータージェットを使用してはならない。

特定の危険有害性

熱伝達オイルは使用中に熱により品質が低下して元々の製品の引火点より相当に低い引火点を持つ揮発性炭化水素を生成することがあります。不活性ガスシステムで引火性のガス状残留物を不活性ガスで完全に置換していないかぎり、システムがまだ高温度のときに内容物を抜かないよう留意してください。使用したオイルを排出する温度は、オイルが排出しやすい十分な温度が必要であることと、発煙および引火点が低い劣化したオイルから火災の危険を避ける必要性の両方を考慮しなければなりません。そのために使用したオイルは100°C以下の温度で排出してください。システムの充てんおよびガス抜き中、補助タンクから熱油をポンプで送り込まないよう十分注意してください。補助タンクから熱油をポンプで送り込んでしまうと、所定の条件下で、補助タンク内に可燃性雰囲気が生成されます。補助タンクの充てん中、形成されたガスと蒸気が自由に野外に

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 2/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	言語
		前作成日	2025 2月 28.	日本語 (JAPANESE)
		作成日	10/2/2023	

5. 火災時の措置

有害な熱分解生成物

排出されて、すばやく拡散できることが不可欠です。オイルを浸した保温材は自然発火する可能性があるので、すみやかに新しい保温材に交換しなければなりません。流出した製品を吸収させた布、紙、その他の素材は、火災の危険性があるので、山積みは許されません。使用後は危険のないよう速やかに処分してください。火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。

特有の消火方法

燃焼生成物には、下記の物質が含まれる可能性があります
炭素酸化物 (CO, CO₂)

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。

消火を行う者は自給式呼吸器および完全防火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

非緊急時対応要員について

救急隊に連絡してください。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気や噴霧の吸入を避ける。十分な換気を行う。適切な個人保護装置を着用する。床が滑りやすい場合があります。転ばないように注意してください。

緊急時対応要員について

適切な呼吸器保護用の機器と安全な作業システムなしに、蒸気、霧、煙霧で汚染された密閉された場所、または換気が悪い場所に入るには非常に危険です。自給式呼吸器を着用して下さい。適切な化学物質用保護服を着用してください。化学薬品からの保護用のブーツ。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。

環境に対する注意事項

漏出した物質や流去水の拡散、および土壤、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壤または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量に流出した場合

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。不活性物質で吸い取り、適切な廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

大量に流出した場合

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。流出現場には風上から近づくこと。下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。本製品がこぼれたら、砂、土、バーミキュライト、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する。漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

海上に流出した場合、管轄の政府・規制機関によって承認された場合、承認されている分散剤を使用することができる。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱注意事項

適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。飲み込まないこと。飲み込むと呼吸傷害の潜在的危険有害性。肺に入り損傷を与えることがある。口で吸ってはならない。眼、皮膚および衣類に接触しないようにする。蒸気や噴霧の吸入を避ける。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品が残存し危険有害性があることがある。容器を再利用してはならない。

衛生対策

本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。取扱い後は、十分に洗浄する。飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

安全な保管条件

現地の法規制に従って保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。施錠して保管すること。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。この製品のために設計されている装置/容器でのみ保管および使用してください。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

不適切

長期高温暴露 湿気の侵入を防ぐために、温度の大幅な変化を避けてください。

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 3/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	言語
		前作成日	2025 2月 28.	日本語 (JAPANESE)
		作成日	10/2/2023	

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

ばく露限界

表示成分	ばく露限界値
水素化中性油を原料とする潤滑油(C15~30)	日本産業衛生学会(日本)。[鉱油ミスト] OEL-M: 3 mg/m ³ 8 時間。発行済み/改定済み: 5/2010 形: ミスト

推奨される測定方法 適切な監視規格を参考しなければならない。危険有害性物質の定量法に関する国の指針文書を参照することも必要になる。

設備対策 暴露に対する制御を十分に施すため、化学物質を扱うすべての活動について健康に対する危険性を評価する必要があります。個人向けの防御装置の着用は、それ以外の制御手段(機械的な制御など)が施されていることを十分に評価してから検討してください。個人用保護具は、適切な標準規格に準拠しており、使用に適し、良好な状態に保たれ、適切に維持管理されなければなりません。

選択および適切な標準規格に関してはお使いの個人用保護具の業者にご相談ください。詳細については、当該国の標準機構に照会してください。

排気または他の工学的管理を施し、それぞれの大気中の濃度をそれぞれの職業上の暴露限度以下に維持すること。

最終的な保護具の選択はリスクアセスメントによって決まります。個人用保護具のすべてのアイテムに適合性があることを確認することは重要です。

換気装置及び作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために煙霧清浄機やフィルター、あるいは工程装置の技術的改良が必要になることもある。

環境暴露管理

生物学的暴露指数

なし

取扱者の保護措置

衛生対策

化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を充分に洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

呼吸用保護具

通常、呼吸保護具は、暴露を管理するための適切な自然排気または局所排気のある場所では必要ありません。

呼吸保護具がきちんと取り付けられていることを必ず確認してください。

換気が不十分な場合は、適当な呼吸保護具を着用する。

空気清浄/空気浄化マスクが適している場合、粒子状物質用のフィルタを使用できます。フィルタタイプ P または相当する標準規格を使用してください。

空気清浄マスクは空気清浄化マスクとも呼ばれ、酸欠(すなわち、低酸素濃度)の状態には適しません。また、重大な危険が伴う化学薬品の気中濃度が存在する場所では適しているとは考えられません。このような場合は、送気式呼吸器が必要となります。

蒸気に加え噴霧またはガスがある場合は、粒子、有機ガスおよび蒸気(沸点 >65°C)用のコンビネーションフィルタが必要になることがあります。フィルタタイプ AP または相当する標準規格を使用してください。

一酸化炭素の暴露限度を超過する危険性がある場合は、認可された送気式呼吸器を着用してください。

危険な燃焼および熱分解生成物の暴露限度を超過する危険性がある場合は、認可された送気式呼吸器を着用してください。

適切な呼吸器保護用の機器と安全な作業システムなしに、蒸気、霧、煙霧で汚染された密閉された場所、または換気が悪い場所に入るのは非常に危険です。

呼吸器保護のための正しい選択は処理される化学物、作業および利用状況、呼吸機器の状態により異なります。安全な方法がそれぞれ目的とする利用法ごとに開発されなければなりません。

したがって呼吸器保護装置はサプライヤー/メーカーに相談の上、作業状況を十分に評価して選択しなければなりません。

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 4/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット 日本
		前作成日	2025 2月 28.	言語 (JAPANESE)
		作成日	10/2/2023	

8. ばく露防止及び保護措置

手の保護具

適切な手袋を着用する。高温物質: 熱傷を予防するため、耐熱および不浸透性の長手袋/手袋を着用してください。

低温物質: 耐薬品性の手袋を着用してください。

推奨: ニトリル手袋。

保護手袋は、使用的する化学物質、作業条件および使用条件、手袋の状態(最も優れた化学的耐性を持つ手袋であっても、化学物質に何度も暴露されることによって傷みます)によって、適したものを選択します。ほとんどの手袋は、短期間しか保護できず、廃棄および交換が必要になります。使用環境および物質の取扱い方法は場合によって異なるため、安全手順は使用目的ごとに決まります。そのため、手袋を選択する際は、供給者または製造業者に相談し、作業条件を十分に評価した上で選択してください。

眼、顔面の保護具

高温物質: 熱傷を予防するため、ヘルメット、フルフェースのバイザーおよび耐熱のネックフラップ/エプロンを着用してください。

低温物質: サイドシールド付きの保護メガネを着用してください。

皮膚及び身体の保護具

保護服の使用は、良い産業訓練です。

作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

綿またはポリエステル/綿のオーバーオールは、皮膚まで浸透しない軽い表面的な汚染に対してのみ保護を提供します。オーバーオールは定期的に洗濯してください。皮膚暴露の危険性が高い場合(例えば、流出物を掃除する場合または飛び跳ねる危険性がある場合など)は、耐薬品性のエプロンおよび/または不浸透性の化学防護服およびブーツが必要となります。

この製品を取り扱う前に、行う作業とそれに付随するリスクに基づき適切な履物および何らかの追加的な皮膚保護具を選択し、専門家の認可を受けなければならない。

フルボディと手足を覆う不浸透性、耐熱性のつなぎ服を着用してください。綿またはポリエステル/綿のオーバーオールは、皮膚まで浸透しない軽い表面的な汚染に対してのみ保護を提供します。オーバーオールは定期的に洗濯してください。皮膚暴露の危険性が高い場合(例えば、流出物を掃除する場合または飛び跳ねる危険性がある場合など)は、耐薬品性のエプロンおよび/または不浸透性の化学防護服およびブーツが必要となります。

9. 物理的及び化学的性質

特に明記されていない限り、性質の測定条件はすべて、標準の温度と圧力である。

外観

物理状態

液体

色

無色。

臭い

情報なし。

pH

該当しない

融点／凝固点

情報なし。

軟化点

情報なし。

沸点又は初留点及び沸点範囲

情報なし。

引火点

密閉式: 154°C (309.2°F) [ペンスキーー・マルテンス ASTM D 93]
開放式: 167°C (332.6°F) [クリーヴランド DIN EN ISO 2592]

燃焼点

情報なし。

蒸発速度

情報なし。

可燃性

情報なし。

燃焼又は爆発範囲の上限・下限

情報なし。

蒸気圧

化学名又は一般名	20°Cの蒸気圧			50°Cの蒸気圧		
	mm Hg	kPa	方法	mm Hg	kPa	方法
水素化中性油を原料とする潤滑油(C15~30)	<0.07501	<0.01	ASTM D 5191			

相対ガス密度

情報なし。

比重

情報なし。

密度

<1 g/cm³ [15°C (59°F)] [ASTM D 4052]

自然発火点

該当しない

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 5/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット 日本
		前作成日	2025 2月 28.	言語 日本語 (JAPANESE)
		作成日	10/2/2023	

9. 物理的及び化学的性質

化学名又は一般名	°C	°F	方法
非該当。			

分解温度 情報なし。

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 情報なし。

揮発性 情報なし。

臨界温度 情報なし。

酸化的性質 情報なし。

粘度 動粘度: 7.5 mm²/s (7.5 cSt) @ 40°C

動粘度: 2.16 mm²/s (2.16 cSt) @ 100°C (ASTM D 445)

液滴点 情報なし。

密度 <1000 kg/m³ (<1 g/cm³) @ 15°C

溶解度

メディア	結果
水	不溶

常温での溶解性(g/l) 情報なし。

n-オクタノール／水分配係数(log 値) 該当しない

備考 情報なし。

粒子特性

中央粒径値 該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性

この生成物に関する利用可能な特定の試験データはありません。追加の情報については、避けるべき条件と不適格な物質に関するセクションを参照してください。

化学的安定性

製品は安定である。

危険有害反応可能性

通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。

通常の保管および使用条件の下では、有害な重合は起こらない。

避けるべき条件

いかなる発火源（火花あるいは炎）にも近づけてはならない。

混触危険物質

次の物質と反応あるいは不適合: 酸化剤。

危険有害な分解生成物

通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性

製品 / 成分の名称	種類	結果	ばく露時間	備考
水素化中性油を原料とする潤滑油(C15~30)	LC50 吸入した場合 微塵および噴霧	ラット	>5 mg/l	4 時間
	LD50 経皮	ラット	>2000 mg/kg	同様の物質に関する研究を基にしています。
	LD50 経口	ラット	>5000 mg/kg	同様の物質に関する研究を基にしています。

刺激性/腐食性

製品 / 成分の名称	種類	結果	スコア	ばく露時間	観察	濃度	備考

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 6/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット
		前作成日	2025 2月 28.	日本 (Japan)
		作成日	10/2/2023	言語
				日本語 (JAPANESE)

11. 有害性情報

水素化中性油を原料とする潤滑油(C15~30)	ウサギ	目 - 眼に対する刺激性なし。	-	-	-	-	-	同様の物質に関する研究を基にしています。
	ウサギ	皮膚 - 皮膚に対する刺激性はない。	-	-	-	-	-	同様の物質に関する研究を基にしています。

感作性

製品 / 成分の名称	暴露経路	種類	結果	備考
水素化中性油を原料とする潤滑油(C15~30)	皮膚	モルモット	非感作性	同様の物質に関する研究を基にしています。

発がん性

該当データなし

變異原性

製品 / 成分の名称 水素化中性油を原料とする潤滑油(C15~30)	テスト OECD 471 Bacterial Reverse Mutation Test	試験: In vitro 被検体: バクテリア	結果 値 陰性	備考 同様の物質に関する研究を基にしています。
	OECD 473 In vitro Mammalian Chromosomal Aberration Test	試験: In vitro 被検体: 哺乳動物-種 の明記なし	陰性	同様の物質に関する研究を基にしています。
	OECD 476 In vitro Mammalian Cell Gene Mutation Test	試験: In vitro 被検体: 特定できない	陰性	同様の物質に関する研究を基にしています。
	OECD 474 Mammalian Erythrocyte Micronucleus Test	試験: In vivo 被検体: 哺乳動物-種 の明記なし	陰性	同様の物質に関する研究を基にしています。

性形奇催

該当データなし

生殖毒性

誤えん有害性

名称	結果
水素化中性油を原料とする潤滑油(C15~30)	誤えん有害性 – 区分1

可能性のある暴露経路についての情報

予想される侵入経路: 経口、経皮、吸入した場合、目.

起こりうる急性毒性

重大な作用や危険有害性は知られていない。

吸入した場合

蒸気圧が低いため、周囲条件下での蒸気吸入は通常問題はありません。

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15		製品コード	470747-DE01	ページ: 7/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット	日本
		前作成日	2025 2月 28.	Build 6.2	(Japan)
作成日			10/2/2023		(JAPANESE)

11. 有害性情報

皮膚に付着した場合	皮膚の脱脂。乾燥肌及び炎症を引き起こすことがある。
飲み込んだ場合	飲み込むと呼吸に障害が生じる危険があり、液体を肺に吸い込むと有害な影響が生じたり死に至る。
物理的・化学的および毒物学的な特性に関する症状	
目に入った場合	特にデータは無い。
吸入した場合	特にデータは無い。
皮膚に付着した場合	有害症状には以下の症状が含まれる: 刺激 乾燥肌 ひびわれ
飲み込んだ場合	有害症状には以下の症状が含まれる: 吐き気または嘔吐
遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響	
目に入った場合	誤って目に入った場合は、一時的な痛みや充血が生じる危険性があります。
吸入した場合	空気中の液滴またはエアゾルに過度に吸入暴露されると、気道の炎症を引き起こす恐れがあります。
皮膚に付着した場合	長期間あるいは繰り返して接触すると、皮膚を乾燥させ、炎症、ひびわれ、及び皮膚炎を引き起こすことがある。
飲み込んだ場合	大量に吸入すると、吐き気や下痢を起こすことがあります。
起こりうる慢性毒性	
概要	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
催奇形性	重大な作用や危険有害性は知られていない。
発育への影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響	重大な作用や危険有害性は知られていない。
毒性の数値化	
急性毒性の推定	
該当データなし	

12. 環境影響情報

環境作用	重大な作用や危険有害性は知られていない。
残留性・分解性	生物分解性とみなされている。
生体蓄積性	
生体蓄積性	この製品は、環境中の食物連鎖による生体間蓄積は起こらないと予想されている。
移動性	液体 水に不溶。
オゾン層への有害性	該当しない

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。不要な包装材料は再利用しなければならない。焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。漏出した物質や流去水の拡散、および土壤、水路、排水溝下水道との接触を回避する。
------	--

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 8/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット 日本
		前作成日	2025 2月 28.	言語 (JAPANESE)
		作成日	10/2/2023	

14. 輸送上の注意

	IMDG	IATA
UN番号	規定なし。	規定なし。
品名	-	-
国連分類 クラス	-	-
容器等級	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。
追加情報	-	-

使用者のための特別な予防措置 情報なし。

IMO機器によるばら積み運搬

情報なし。

15. 適用法令

消防法

カテゴリー	物質名／種類	危険等級	注意喚起語	指定数量
第四類危険物	第三石油類	III	火気厳禁	2000 L

労働安全衛生法

特別有機溶剤等 情報なし。

ラベルに関する規定

表示成分	法文表示名称	CAS 番号	濃度	状況
-	鉛油	-	90 - 100	該当

※皮膚等障害化学物質(労働安全衛生規則第594条の2)該当物質は、上記表に開示しております。

名称等を通知すべき危険物及び有害物

表示成分	法文表示名称	CAS 番号	濃度	状況
-	鉛油	-	90 - 100	該当

安衛則第577条の2の規定に基づくがん原性物質

表示成分	含有量(%)	状況	整理番号
記載された成分なし。			

安衛法第28条第3項の規定に基づくがん原性物質

化学名又は一般名	含有量(%)	状況	整理番号
非該当			

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR) – 2023年3月まで

非該当

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ: 9/11
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット 日本
		前作成日	2025 2月 28.	言語 日本語
		作成日	10/2/2023	(JAPANESE)

15. 適用法令

[化学物質排出把握管理促進法 - 2023年4月から](#)

非該当

その他の規定

オーストラリア化学物質インベントリー(AIIC)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
カナダインベントリー	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
中国インベントリー(IECSC)(中国既存化学物質インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
日本インベントリー(化審法既存及び新規公示化学物質)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
韓国インベントリー (KECI)(韓国既存化学物質インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
フィリピンインベントリー(PICCS)(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
台灣化學物質清單	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
米国インベントリー(TSCA 8b)(有害物質規制法 8b)	すべての構成成分がアクティブか、または免除されます。
REACH状況	セクション1で指定している会社は、この製品をEU域内において、現在のREACHの要件に従って製造しています。

16. その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付

2025 5月 29.

前作成日

2025 2月 28.

作成者

Product Stewardship

日本における略号キーは下記の通りです。

GHS = グローバル・ハーモナイズド・システム

CAS番号 = ケミカルアブストラクトサービス登録番号

ISHL = 産業上の安全・健康に関する法

OSHL = 職業上の安全・健康に関する法

PRTR = 特定化学物質の環境への放出に関する報告とその管理改善促進に関する法

ENCS = 既存および新規化学物質

METI = 経済・通商・産業省

OEL = 職業上の被曝制限

JSOH = 日本産業衛生学会

REACH = 化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規則[規則(EC)No. 1907/2006]

TWA = 時間加重平均

STEL = 短時間被曝制限

IMDG = 物品の海上輸送に関する国際海事機関規則

IATA = 國際航空協会

UN Number = 国連番号、危険物品の輸送に関する国連専門家委員会によって割り当てられた4桁の番号

それぞれ異なる = 次の 1 つ以上が含まれる場合があります 64741-88-4, 64741-89-5,

64741-95-3, 64741-96-4, 64742-01-4, 64742-44-5, 64742-45-6, 64742-52-5,

64742-53-6, 64742-54-7, 64742-55-8, 64742-56-9, 64742-57-0, 64742-58-1,

64742-62-7, 64742-63-8, 64742-65-0, 64742-70-7, 72623-85-9, 72623-86-0,

72623-87-1

分類を行うために使用する手順

分類	由来
誤えん有害性 - 区分1	算出方法

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ:
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット
		前作成日	2025 2月 28.	日本 (Japan)
		作成日	10/2/2023	言語 (JAPANESE)

16. その他の情報

▼前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

本データシートは正確を期する為に、あらゆる実用的な手段を講じており、本データシートに含まれる健康、安全および環境情報は資料発行日において正確なものです。しかしながら、本データシートに記載されているデータおよび情報の正確性や完全性に対して何らの保障をするものではありません。記載されたアプリケーション以外の製品を BP グループからの指導なく利用することはできません。

本製品を安全に使用し、すべての法律および規定に準拠することは、取り扱う事業者の責任です。弊社は使用者の特別な用途での使用、注意事項の無視、または材料固有の性質により生じた障害や損傷には責任を負いません。業務用として他の事業者に本製品を提供する購入者は、本製品の使用者に本データシートの情報を提供するために必要なあらゆる手段をとる義務があります。本製品を取り扱う事業所の事業主は、本データシートに記載されている危険性および従うべき注意事項について、関わりのある従業員および関係者に通知する義務があります。BP グループに連絡して、この文書が最新版であることを確認できます。この文書に変更を加えることは固く禁じられています。

製品名	ON Immersion Cooling Fluid DC 15	製品コード	470747-DE01	ページ:
バージョン	2	発行日	2025 5月 29	フォーマット
		前作成日	2025 2月 28.	日本 (Japan)
作成日			10/2/2023	言語 (JAPANESE)